



「勤労感謝の日」の晴れ渡った祝日に、夫は第3回目の抗がん剤治療が終わり、副作用を乗り越えて、16日ぶりに2度目の一時退院することが出来ました。23日から29日の再入院まで1週間、自宅でのんびり、自由に、リフレッシュします。この日を迎えることが出来て、本当に感謝の思いでいっぱいです。

抗がん剤はがん細胞だけでなく、通常の細胞も破壊するので、全体的に体力が落ちます。また、ベッドで寝ていることが多かったため、筋力がなくなっています。荷物も持たず、階段をゆっくり昇って、自宅にたどり着きました。ほっとして「まずは一服」と緑茶を入れて飲みましたが、お茶の味がしない、と言います。味覚障害があり、食欲もないと言います。体重も10キロ減量となり、私といい勝負というところでしょうか。でもこのように一時退院が出来ると言うことは、真心のこもった、真剣で、親切な、主治医を始め、駒込病院の医療スタッフの皆さまのおかげです。また、多くの方々から心を寄せてくださり、回復をお祈りして下さったのおかげです。一時退院で、少しでも体力をつけられれば、と願っています。

副作用で気になるは脱毛だと言われていますが、夫は全く気にしていません。もともとその傾向にあって、気持ち的には免疫力がたっぷりあったと思います。「頭写してもいいよ」と薄くなった頭を記録にとどめました。理解してもらえないような「だるさ」があると言います。リンパ腫は血液のがんですから、全身への影響、特に命の血がダメージを受けたので、言いようのない苦しみのようなのです。



初回の抗がん剤治療は中心静脈注射という首筋の血管への投与でした。副作用、感染症による高熱が続き、腸管などのダメージが大きく、体力が大きくダウンしました。退院は無理でした。2回目の治療に入るまで50日を要しました。2回目、3回目は、抗がん剤は腕への点滴によるものでした。発熱の副作用が出ましたが、短期間で収まり、輸血などにより、貧血状態を改善してもらいました。今回、白血球が2000を超え、LDH(乳酸脱水素酵素)が基準値内に収まっていることで、投与から16日目の一時退院となり、最初の計画表のようなスケジュールになってきました。

退院前日、薬剤師が一時退院中に飲むべき薬と、これまでの治療に用いた薬品の表・レジメンを持ってきてくれました。主な薬品の頭文字をとって、R-EPOCH、アール・エポック療法と呼ばれています。9~10種類の薬品を5日間にわたって投与します。その量、点滴の速度、時間配分など、詳細に記されていて、これに従って治療がなされているのです。そのほかにも輸血を始め、補助薬品の助けを借りたわけです。

薬の袋は大きいうえ、6種類で、服用方法がそれぞれありますから、間違わないように整理してバスケットに入れました。胃、十二指腸、食道のためのもの、腸の調子を整えるもの、感染症予防のもの、ビタミンD、尿の回数をコントロールするもの、そして漢方薬が味覚障害のために出されています。なんとと言っても、感染症予防のため、手洗い、うがいをしっかりとるようにとご注意を受けました。一週間私は「臨時看護師」になります。とても駒込病院の白衣の天使のような看護師にはなれないでしようが、一生懸命看病しましょう。